令和７年度

小規模特認校指定 伊那市立伊那西小学校

林間はぼくらの教室だ

豊かな自然の中で学びます

地域に根ざし、地域と共に歩みます

少人数を活かして学力向上を図ります

自然（林間）に親しみ、豊かな心を育んで、自己肯定感を高めます

学校見学・授業参観・学校体験
お気軽にお問い合わせください

伊那西小学校 TEL.0265-72-2632
伊那市教育委員会 TEL.0265-78-4111

伊那市立伊那西小学校

〒396-0027 長野県伊那市ますみヶ丘6949番地2
TEL 0265-72-2632 FAX 0265-72-3145
E-mail : inanishi@ina-ngn.ed.jp

小規模特認校紹介ページ

2025.9

学校と地域が一つになって

PTAの声

伊那西小学校は、地域の自然や人とのつながりを大切にした学校です。児童数が少ないからこそ、先生方の目も行き届き、子供一人ひとりを大切に育てています。学年を超えた交流も日常の中にあり、上級生が下級生を自然に助け、下級生も安心して学校生活を送れる環境がここにあります。

また、豊かな自然に囲まれた学校林の「林間」は伊那西小学校の大きな魅力の一つです。林間にある森のステージを使ったコンサートや授業・林間マラソン等、体験活動を通じて、子供たちは自然と共に学び、友達と共に成長します。春夏秋冬、季節によって姿を変える自然の中での学びは、教室の中だけでは得られない気づきと感動を育みます。

地域の皆さんとのつながりも強く、林間整備などでも保護者とボランティアの皆さんが積極的にご協力頂けます。運動会、総合展は学校・地域全体で協力して開催され、多くの人に支えられた学びの場となっています。

是非、伊那西小学校に体験に来てください。

伊那西小学校PTA会長　福沢　聖磨

在校生の声

伊那西小学校は自然にかこまれたとてもいい学校です。学校の林間では、勉強をしたり、虫取りや鬼ごっこなどをして遊んだりしています。季節によって、風景が変わるところもおもしろいです。

毎週火曜日と木曜日には、林間マラソンで森の中を子どもたちがかけぬけています。林間では子ども一人ひとりが自分の木を決めて成長を観察します。また、森の教室では、虫や動物、植物などの生き物のことを勉強しています。「林間と親しむ日」には、ネイチャーゲームをして自然と触れ合ったり、縦割り班でカレーをつくったりして、林間で楽しみます。みんなで協力してつくり、林間で食べるカレーはとってもおいしいです。

伊那西小学校では、森を使った遊びや学びができます。今年は林間の素材を生かして、理科で火をおこす実験をしたり、図工の授業をしたりしました。これは林間が近くにある伊那西小学校でしかできないことだと僕は思います。みなさんもぜひ伊那西小学校に来てみてください。

令和７年度　児童会長

林間にて ～体験を大切に、伊那西小でしかできない学び～

朝の林間マラソン

やまぼうし自然学校

卒業生（社会人）の声

私が伊那西小学校に通っていたのは、40年以上も昔のことです。当時の全校人数は130名ほどでした。人数が多くなかったからこそ、1年生から6年生までみんなと遊んだり先生の家に遊びに行ったり、学校中で仲が良かったと思います。他校に比べて人数が少ないことは、上伊那郡の小学校が集まる音楽会や水泳大会などに出向いたときに知りました。その頃はそういった大勢の中に行くと圧倒されていたましたが、今思えば、中学校・高校と年を追うごとに行動範囲は広くなり多くの人と関わるのは必然で幼い頃に小さいコミュニティーだからこそ一人ひとりとの関わりが強く、先生や友達が身近に感じられ、自然に囲まれて学んで来られたことは、とても恵まれていたと思います。

私の息子も伊那西小学校の卒業生です。私の頃よりも、先生方が学校に隣接している林間を使って楽しく学べるように工夫してくださり地域の人たちが林間を整備し、また児童自身も自然の中で遊べる環境を作っています。周りの人たちとふれ合い見守られて育ってこられたことは、財産と呼べる経験だと思います。こんな素敵な環境だったからこそ、現在は高校生になり親ばかかもしれませんが、朗らかで優しい青年に育ってくれたと思っています。現在、伊那西小学校の児童数は私が通っていたころの半分程度ですが子供たちは元気に挨拶のできる、個性ある優しい子ばかりです。伊那西地区の財産ともいえるこの小学校や子供たちをこれからも見守っていけたらと思います。

昭和55年度卒業生　山岸　公一

校長の声

「日本一学校林が近いところにある学校です」とは、学校見学に訪れる方々にお伝えするキャッチフレーズです。ベランダを一歩出ると目の前に広がる伊那西小学校の学校林は、子どもたちのくらしと学びが融合した生活の場所である一方、日本の屋台骨といえる中央アルプスから続いている森林地帯の末端の地でもあります。子どもも大人も昔から「林間」と呼んで親しむ本物の自然に触れることができるこの空間には、タラノメやコシアブラ、野いちごなどの季節ごとの味、カブトムシやクワガタ、さらにミヤマシジミやカタクリなどの希少な個体やムササビやアカゲラ、キツネなどの使者が一緒になって私たちを見守っています。

一人一人の個性を大切にし、豊かな自然と親しみながら、主体的・探究的に学ぶことができるのが伊那西小です。本物の自然に囲まれながらじっくり学んでみませんか？

伊那西小学校長　有賀　大

小規模特認校とは？

「豊かな自然の中での活動をたっぷりさせたい」「少人数の学校で子どもを学ばせたい」といった、「特色ある教育環境を活かして、一人ひとりの個性を尊重し、明るく伸び伸びとした教育」を保護者が希望された時に、一定の条件をもとに校区を越えて入学または転学が認められた学校です。

小規模特認校への入学・転入学には申請手続きが必要です。